

吉野川水系流域治水プロジェクト 取り組み状況について ～令和6年度末時点進捗状況～

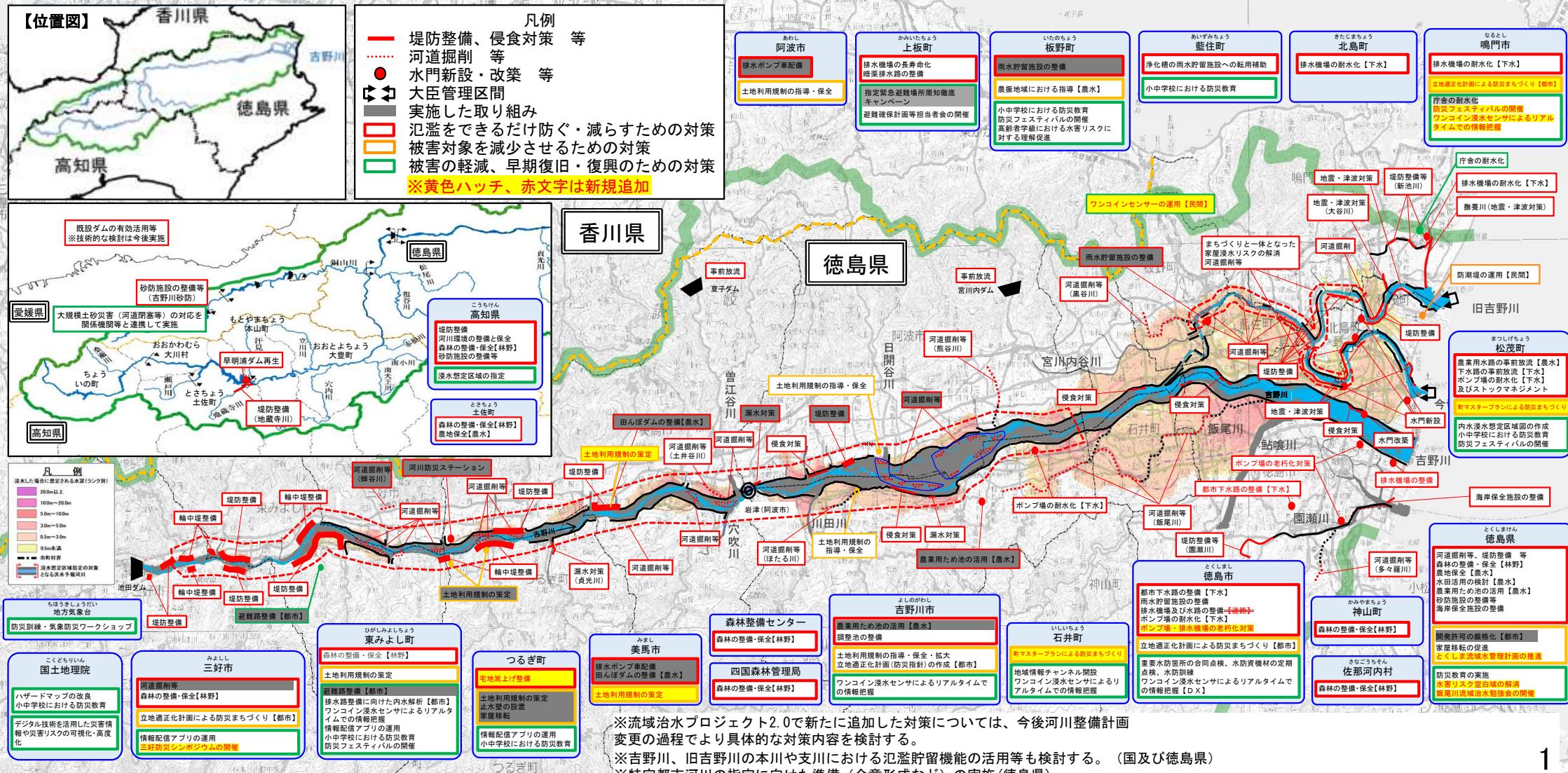
令和7年3月13日
吉野川流域治水協議会

吉野川下流大規模氾濫に関する減災対策協議会
吉野川中流大規模氾濫に関する減災対策協議会

吉野川流域治水プロジェクト【位置図】

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

- 吉野川及び旧吉野川では、国管理区間において、吉野川は戦後最大流量を記録した平成16年10月洪水、旧吉野川は戦後最大流量を記録した昭和50年8月洪水が、気候変動（2°C上昇）を考慮し流量が増加した場合においても、（降雨量を1.1倍とした場合）目標とする治水安全度を確保し、追加の対策により浸水被害の防止を図る。
- 吉野川は、既設ダムの有効活用、河道掘削等、遊水地等の新たな洪水調節機能の確保により洪水を安全に流下させる。
- 旧吉野川は、無堤地区については、堤防整備・宅地嵩上げ・家屋移転など、まちづくりと一体となった家屋浸水リスクの解消に取り組むものとし、河道掘削等、遊水地等の新たな洪水調節機能の確保と合わせ家屋浸水被害の防止を図る。
- また、上記対策の実施にあたっては、河川環境の保全・創出のため多自然川づくりを推進する。



氾濫を防ぐ・減らす	被害対象を減らす	被害の軽減・早期復旧・復興
<p>○気候変動を踏まえた治水計画への見直し (2°C上昇下でも目標安全度維持)</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削の更なる推進及び河道掘削残土の有効活用、堤防整備、輪中堤整備、まちづくりと一体となった家屋浸水リスクの解消、水門新設・改築、早明浦ダム再生 <p>○流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設の整備 ・雨水貯留施設の整備、雨水貯留施設への転用補助、雨水貯留槽の設置補助、調整池の整備、宅地嵩上げ整備 ・都市下水路及び公共下水道（雨水）の整備、排水機場・ポンプ場の耐水化・長寿命化、下水路の事前放流【下水】 ・農業用ため池の活用、水田活用の検討、農業用水路の事前放流、農地保全、田んぼダムの整備【農水】 ・排水機場及び水路の整備【道路】 <p>○あらゆる治水対策の総動員</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防施設の整備、排水ポンプ車配備、森林の整備・保全【林野】、河川環境の整備と保全 <p>○溢れることも考慮した減災対策の推進</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・侵食対策、漏水対策、河川防災ステーション、地震津波対策 <p>○既存ストックの徹底活用</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利水ダム等18ダムにおける事前放流等の実施体制構築 ・既設ダムの有効活用等 	<p>○溢れることも考慮した減災対策の推進</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・止水壁の設置、家屋移転 ・まちづくりと一体となった家屋浸水リスクの解消 （立地適正化計画の作成及びマスターplanの見直し等の防災まちづくりの推進） ・土地利用規制の策定・指導・保全・拡大 農振地域における指導【農水】 <p>○民間資金等の活用</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤の運用【民間】 ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説 ・市街化調整区域内の浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【都市】 ・とくしま流域水管計画の推進 ・立地適正化計画（防災指針）の作成【都市】 	<p>○流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難路整備【都市】 ・水害リスク空白域の解消 ・浸水想定区域図の作成（外水、内水） ・排水路整備に向けた内水解析【都市】 <p>○多面的機能を活用した治水対策の推進</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町長との重要水防箇所合同巡視 ・水害リスクの高い区間における監視体制の整備 ・ソフトインフラを活用した避難訓練 ・小中学校における防災教育の更なる推進 ・地域情報チャンネルの開設 ・避難確保計画等担当者会の開催 ・庁舎の耐水化 ・ハザードマップ、タイムラインの改良 ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取り組み ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・重要水防箇所の合同点検、水防資機材の定期点検、水防訓練 ・情報配信アプリの運用 ・防災フェスティバルの開催 ・大規模土砂災害（河道閉塞等）の対応を関係機関等と連携して実施 ・高齢者学級における水害リスクに対する理解促進 ・避難判断に資する水害リスクを踏まえた「洪水の勤どころ」作成 <p>○インフラDX等の新技術の活用</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンコイン浸水センサによるリアルタイムでの情報把握 ・デジタル技術を活用した防災情報や災害リスクの可視化・高度化

吉野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～日本一の暴れ川から命と資産を守る流域治水対策～

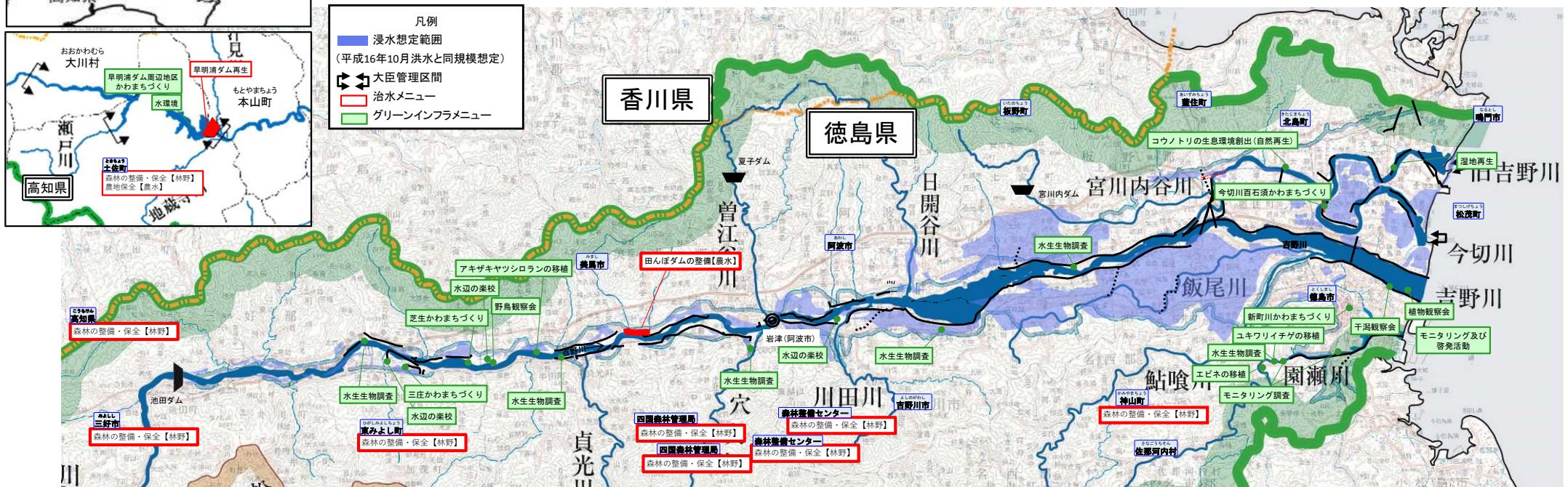
●グリーンインフラの取り組み

『吉野川水系の自然環境の再生にむけて』

【位置図】

○昭和50年頃の吉野川中流域～下流域(池田ダム～第十堰湛水域上端)は、広いレキ河原があり、コアジサシ等の鳥類の繁殖地として利用されていた。また、吉野川下流域における汽水域(第十堰～河口)は、これまで、河川と海の影響を受ける特有の環境であり、多くの生物にとって良好な生息・生育・繁殖の場となっている。河口干潟は、日本重要湿地500に選定されており、シオマネキ等の底生動物が生息している他、シギ・チドリ類の重要な中継地となっている。昭和30年頃の旧吉野川、今切川は、ワンドや湿地が多数存在し、堤内地の水田やハス田は、河川との連続性があり、多くの重要種が生息していた。

○吉野川水系自然再生計画に基づき、昭和50年頃の吉野川、昭和30年頃の旧吉野川の自然環境へ再生を目指し、ワンド・湿地の保全・再生、河川と水田の連続性の保全、レキ河原や水辺のなだらかな連続性(エコトーン)の保全・再生、干潟環境の保全等の整備を行い、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進することで、概ね2050年までに、多様な動植物の生息・生育・繁殖場環境の回復に努める。



■自然環境の保全・復元などの自然再生

レキ河原の保全・再生、水辺のなだらかな連続性(エコトーン)の保全・再生、干潟・湿地環境の保全、ワンド・湿地再生、河川・水田・ハス田の連続性の保全

■生物の多様な生息・生育環境の保全・創出による生態系ネットワークの形成

大型水鳥等の採食地の保全・創出、休耕地を利用した通年湛水によるビオトープ
創出、冬期の水位調節による浅場の確保、農薬・化学肥料の低減による生息環境の創出

■治水対策における多自然川づくり

生物の多様な生育環境、河川景観の保全

■魅力ある水辺空間・賑わい創出

早明浦ダム周辺地区かわまちづくり、水辺の楽校を活用した環境学習

■自然環境が有する多様な機能活用の取り組み

地元地域における河川環境学習(水生生物調査、干潟観察会、植物観察会等)
徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会

【全域に係る取組】

- ・吉野川流域における生態系ネットワーク形成を目標とした、河川環境の創出
- ・改修工事箇所における重要種の保全対策として、移植・モニタリングを行う
- ・旧吉野川・今切川の堤防耐震対策工事において、干潟環境及びヨシ原の創出
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



自然再生、生物の多様な生息・生育環境の保全・創出

かわまちづくり



魅力ある水辺空間・賑わい空間の創出



様づみ



環境学習(河口干潟保全)



自然環境が有する多様な機能活用への取り組み

吉野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本一の暴れ川から命と資産を守る流域治水対策～

○吉野川は、岩津下流の扇状地への拡散型の氾濫、岩津上流の川沿いの閉鎖・流下型の氾濫が発生する流域の特徴を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町、関係機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】吉野川流域での浸水被害を防ぐため、本川では堤防等の整備と併せて土地利用規制、支川では河道掘削、雨水貯留施設の整備等の対策を実施。

【中期】施設能力を上回る洪水に対応するため、早明浦ダム再生を実施。内水被害を受けやすい下流域では、調整池の整備や排水機場の耐水化等を実施。

【中長期】残る未整備箇所の対策と併せて土地利用規制を実施、流下断面が不足する区間のために河道掘削を並行して行い、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程			■事業規模
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備 早明浦ダム再生 等	国土交通省、水資源機構 徳島県、高知県、三好市	吉野川下流部 築堤完了	早明浦ダム 再生完了	堤防整備 河道掘削完了	河川対策（約1,784億円） 砂防対策【国】（約902億円） 下水道対策（約123億円）
	利水ダム等18ダムにおける 事前放流等の実施	四国電力（株）、電源開発（株） 住友共同電力（株）、水資源機構 等				
	排水ポンプ車配備 雨水貯留施設の整備 等	徳島市、吉野川市、阿波市 美馬市、藍住町、板野町	排水ポンプ車配備・運用、雨水貯留施設の整備			
	砂防施設の整備等	国土交通省、徳島県、高知県	砂防施設整備の継続			
	都市下水路の整備 排水機場の耐水化 等【下水】	徳島市、鳴門市、吉野川市 松茂町、北島町	耐水化計画の策定	排水機場の耐水化		
	農業用ため池の活用、農地保全 田んぼダムの整備 等【農水】	徳島県、吉野川市、松茂町、美馬市、 土佐町、川島東土地改良区 等	農業用ため池の活用、農地保全、田んぼダムの整備			
	森林の整備・保全【林野】	四国森林管理局、森林整備センター、 徳島県、高知県 等	森林の整備・保全の推進			
被害対象を減少させるための対策	土地利用規制の 策定・指導・保全・拡大	吉野川市、阿波市 つるぎ町、東みよし町	土地利用規制の策定	土地利用規制の指導・保全・拡大		
	止水壁の設置、家屋移転	つるぎ町	止水壁の設置、家屋移転			
	防潮堤の運用【民間】	(株)大塚製薬工場 パナソニック(株)	防潮堤の運用			
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	指定緊急避難場所の認知度向上 避難のためのハザード情報整備 高齢者等避難の実効性確保 等	吉野川中流・下流大規模氾濫に関する 減災対策協議会、中央東土木事務所管 内豪雨に強い地域づくり推進会議	(地域の取組方針) 指定緊急避難場所の 認知度向上 等	(地域の取組方針) R7年度更新	(地域の取組方針) R12年度更新	
グリーンインフラの取組	自然再生	国土交通省、徳島県、各市町 等	湿地再生(津慈地区の整備)			
	生態系ネットワークの形成	国土交通省、徳島県、各市町NPO法人 とくしまコウノトリ基金 等	レキ河原の保全・再生、干渉・湿地環境の保全 等 協議会の設置 等			
	早明浦ダム周辺地区 かわまちづくり	国土交通省、本山村、土佐町、 大川村	生態系ネットワーク形成 早明浦ダム周辺地区かわまちづくり			
	地元地域における河川・海岸環境 学習	国土交通省、徳島県 沖洲海浜楽しむ会、徳島大学 等	モニタリング調査 地元地域における河川・海岸環境学習			

気候変動を
踏まえた更なる
対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

吉野川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

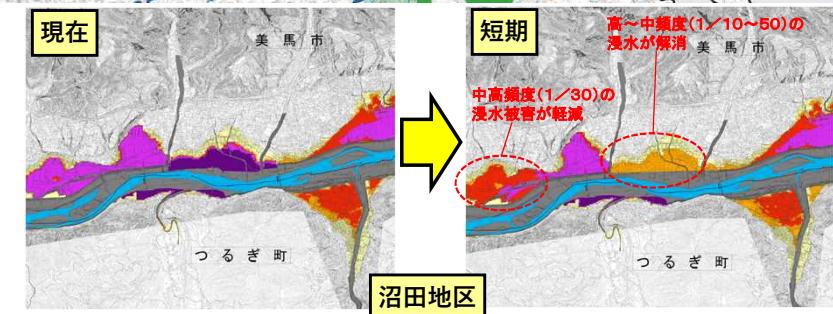
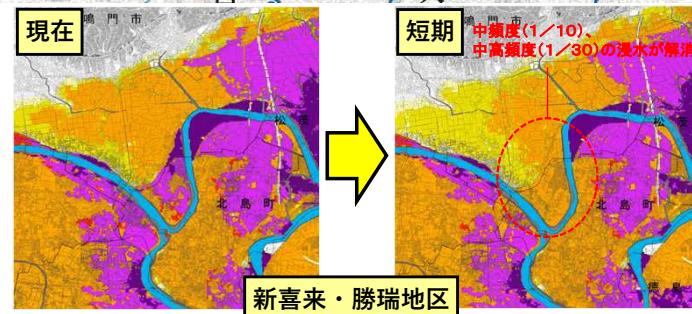
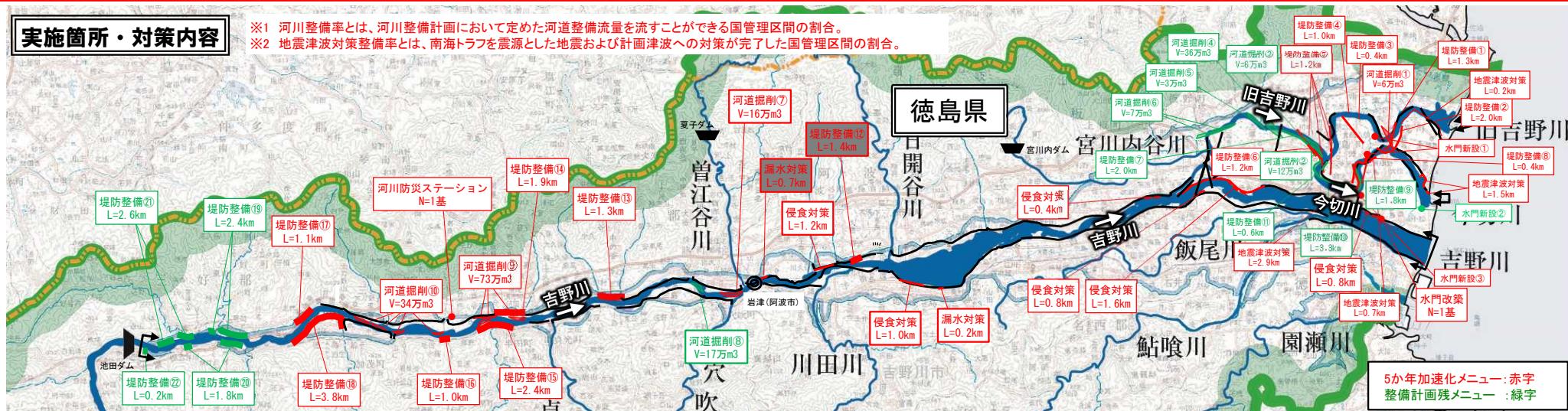
～日本一の暴れ川から命と資産を守る流域治水対策～

○吉野川においては、戦後最大の平成16年10月洪水等と同規模の洪水を流下させるための河川整備を実施。

○吉野川の勝命地区・沼田地区、旧吉野川の新喜来・勝瑞地区の堤防整備事業がR7までの完了に伴い、同地区の浸水被害を軽減することが可能。

短期整備(5か年加速化対策)効果:河川整備率※1 約75%→約79%(吉野川下流:約98%→約100%、吉野川上流:約72%→約78%、旧吉野川・今切川:約55%→約60%)
地震津波対策整備率※2 約28%→約38%

実施箇所・対策内容



【短期整備完了時の進捗】

(河川掘削・樹木伐採)		(堤防整備)		(堤防整備)		(堤防整備)		(水門新設)	
①中喜来地区	河道掘削 100%	①中喜来地区	堤防整備 80%	⑥加賀須野地区	堤防整備 50%	⑪半田地区	堤防整備 50%	①鍋川	水門新設 40%
⑦脇町第一地区	河道掘削 70%	②広島地区	堤防整備 70%	⑪勝命地区	堤防整備 100%	⑯毛田地区	堤防整備 40%	③櫻瀬江湖川	水門新設 50%
⑨沼田・半田地区	河道掘削 70%	⑤新喜来地区	堤防整備 100%	⑬脇町第三地区	堤防整備 20%	⑪宮岡地区	堤防整備 40%	⑩加茂第二地区	堤防整備 90%
⑩芝生・太刀野地区	河道掘削 10%	⑩勝瑞地区	堤防整備 100%	⑭沼田地区	堤防整備 100%				

凡 例

高頻度(1/10)
中高頻度(1/30)
中頻度(1/50)
中低頻度(1/100)
低頻度(1/150)
想定最大規模
市町村境界
大臣管理区間

注意①:スケジュールは現在実施している「5か年加速化対策」の予算が今後も同様に継続された場合を想定している。

注意②:今後の予算・事業進捗状況によって当表の内容は変更となる場合がある。

注意③:気候変動を踏まえた更なる対策を推進していくことも検討中である。

注意④:工作物の影響による越水・溢水・破堤氾濫・侵食破堤、浸透破堤、について既往の実績水位等から総合的に判断し、本リスクマップの作成にあたっては中低頻度(1/100)以上の外力に対して発生を想定している。

注意⑤:早期の効果発現を期待して整備した施設については、暫定的な整備状況(工事中を含む)であったとしてもその時点の機能を評価している。

吉野川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～日本一の暴れ川から命と資産を守る流域治水対策～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：79%
(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



14市町村
(令和6年度末時点)

流出抑制対策の実施



0施設
(令和5年度実施分)

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所
(令和6年度実施分)
砂防関連施設の
整備数
(令和6年度完成分)
※施工中 66施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



4市町村
(令和6年7月末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 64河川
(令和6年9月末時点)
内水浸水想定区域 3団体
(令和6年9月末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水1483施設
計画 土砂252施設
(令和6年9月末時点)
個別避難計画 21市町村
(令和5年1月1日時点)

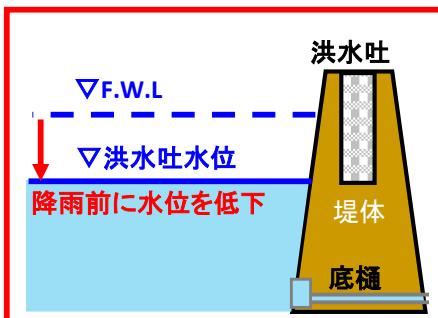
指定緊急避難場所の
認知度向上



指定避難場所の認知率
32%
(令和3年11月時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

農業用ため池の活用(吉野川市)

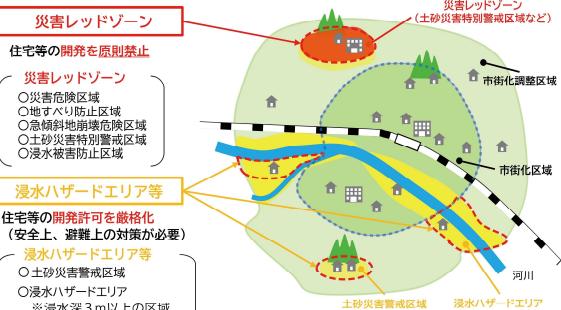


農業用ため池において事前放流及び直前放流を実施し、雨水貯留施設として洪水調節を図る。

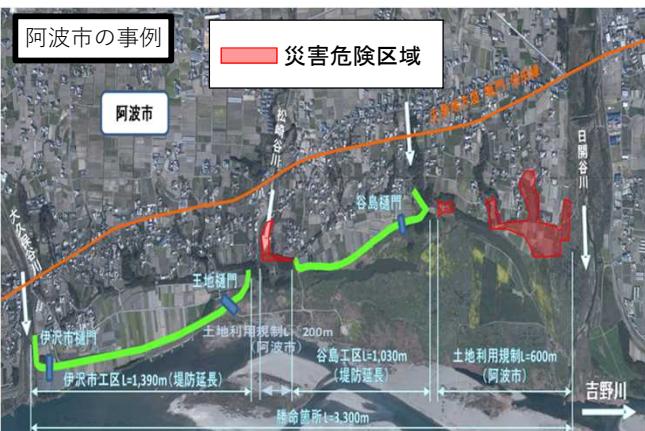
令和3年には、ため池を管理する土地改良区と協定を締結し、運用を開始。

被害対象を減少させるための対策

市街化調整区域内の浸水ハザードエリア等
における開発許可の厳格化(徳島県)



・災害危険区域を指定し、被害対象を増加させない取組を実施。(阿波市、つるぎ町等)



被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

指定緊急避難場所の認知度向上

指定緊急避難場所の認知率

現状 令和3年度 32% → 目標 令和7年度 80%

指定緊急避難場所カード

「指定緊急避難場所」周知徹底キャンペーン in 上板町

上板町役場



所在地：上板町七條字經原4番地

※この指定緊急避難場所は「指定避難所」として指定されています

対応している災害の種別

洪水 土砂災害 内水氾濫 地震



・アンケートの結果、災害時に適切な指定緊急避難場所を目指すことが出来る人は、流域全体で3割程度と判明。

・命を守るためにには、それぞれの災害に応じて指定緊急避難場所を適切に把握することが必要不可欠。

・令和7年度までに指定緊急避難場所の認知度8割を目標として設定し、実際に足を運んでもらうためのイベントを上板町で実施。

雨水貯留施設の整備等（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

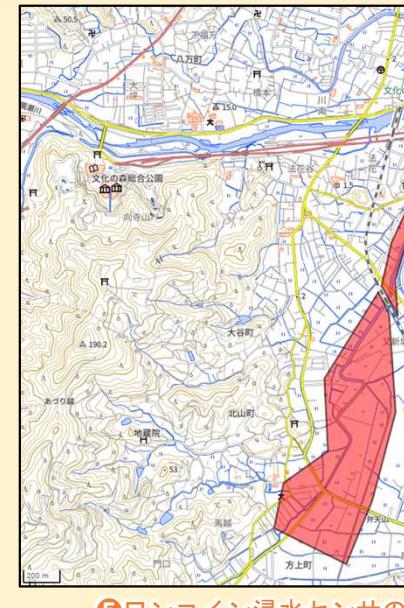
- 徳島市では、市内各地区において雨水貯留施設、都市下水路施設、排水路・排水機場を整備し、浸水区域の解消や浸水被害の軽減を図っています。
- 過去に浸水被害が発生した勝占地区の方ノ上町付近において、実証実験としてワンコイン浸水センサを設置しました。
- 関係機関合同で重要水防箇所の巡視を行い、異常の確認や危険な箇所の早期把握に努めました。



⑥重要水防箇所合同巡視(第十堰下流)

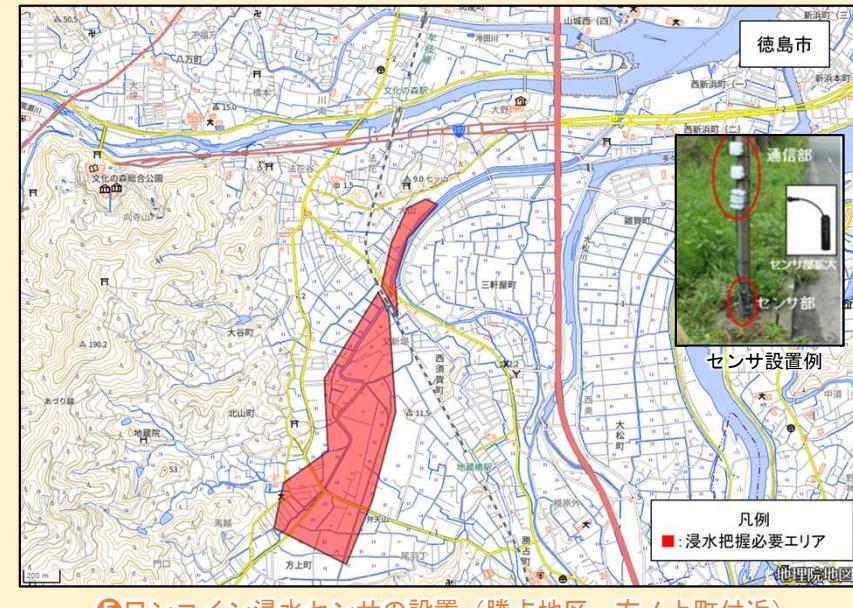


②排水路の整備（川内地区）



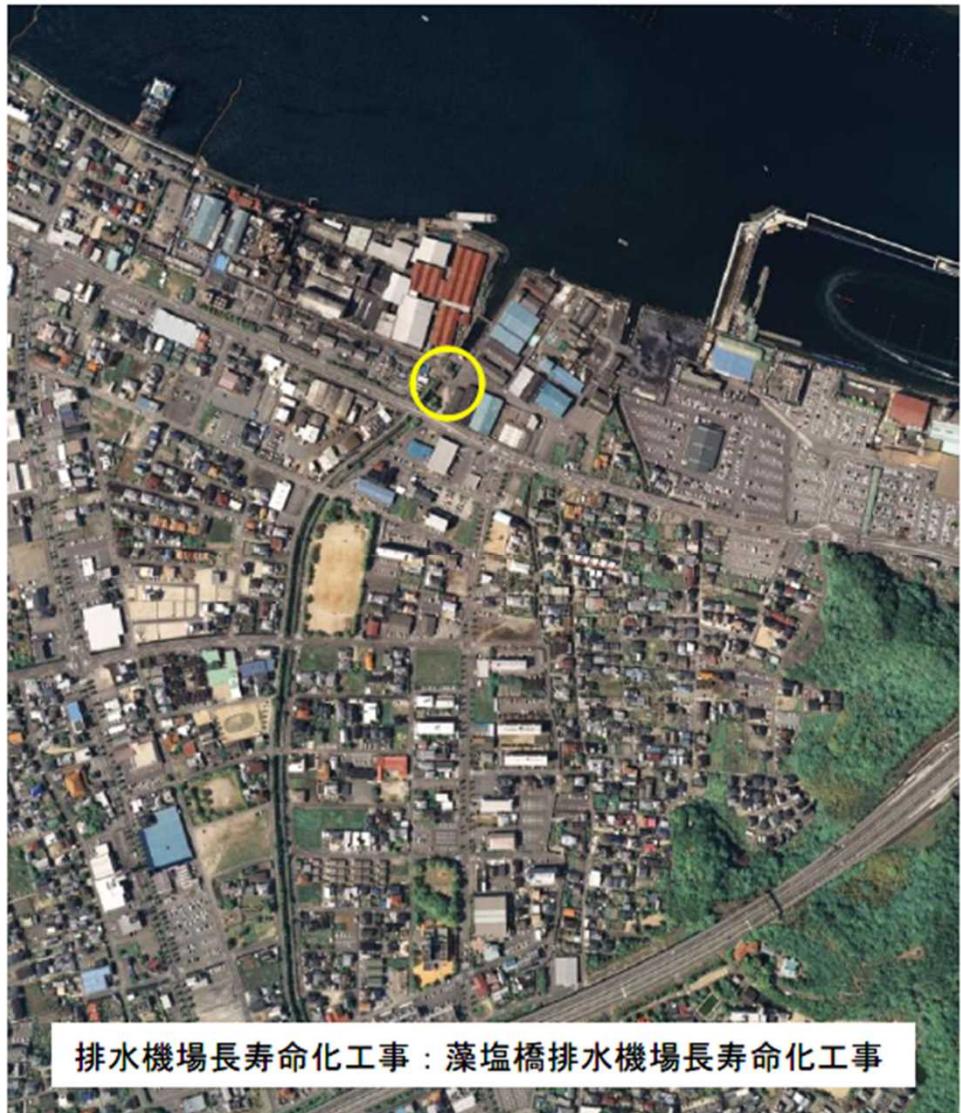
③都市下水路の整備（国府地区）

⑤ワンコイン浸水センサの設置（勝占地区、方ノ上町付近）



河川の浚渫等（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 排水機場長寿命化に沿って、長寿命化工事を実施し施設の適切な機能を維持した。
- 適切な河川断面を確保するため、河川の浚渫を実施した。



森林整備・保全（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- ▶ 私有林整備に対して補助を実施。
- ▶ 緊急間伐事業の実施。
- ▶ 令和7年3月完了。

＜里山環境整備保全事業＞ 令和6年度予算額 5,000千円 実施面積 3.3ha(12ヶ所)

神山町内の里山地域における快適な居住環境や良好な景観を確保するため、各集落が行う森林整備及び同時に作業路の開設及び補修に対して補助。補助対象は、里山地域のスギ・ヒノキ人工林や天然林の広葉樹林、面積は100平方メートル以上、上限は間伐1ヘクタール、皆伐0.3ヘクタール。

＜補助対象経費＞

伐採及び搬出・トラック運搬・作業路の開設・補修の経費。この事業で伐採した区域の植栽及び鳥獣被害対策の経費、下刈又は刈払いの経費。補助率は、標準事業費の3分の2以内。トラック運搬と作業路は定額。



実施前



実施後

＜緊急間伐実施事業＞ 令和6年度予算額 3,030千円 実施面積 13ha(1ヶ所)

神山町森林整備計画の「間伐及び保育に関する基本的事項」に掲げられた間伐時期等から遅れている森林で、隣接所有者との境界が明確で、森林経営管理制度に基づいた「森林の意向調査」において、所有森林の管理を「信用のにおける者に任せたい」と回答されたものの中から、所有者の承諾を得て調査を行い、現況が未整備等により荒廃しており、生育状況及び間伐等の施業履歴、緊急性などを総合的に判断し、実施個所選定委員会により選定された森林で間伐(切捨て)を実施する。



実施前



実施後

吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和6年度の取組
徳島河川国道事務所・美馬市

脇町第三箇所堤防整備：徳島河川国道事務所
(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

災害危険区域の検討：美馬市
(被害対象を減少させるための対策)

➤ 平成16年10月台風23号による洪水では2戸の家屋を含む15.4haの浸水被害が発生。今後、堤防整備を推進予定。

➤ 堤防整備完了後の内水氾濫被害拡大を防止するため、美馬市による災害危険区域指定等の減災対策を検討中。



堤防整備等、河道掘削・樹木伐採、砂防施設の整備
(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

- 激甚化する豪雨等に対応するため、「流域治水」の考え方のもと、河川区域での堤防整備等をはじめ、集水域での土砂・流木の流出抑制対策など、氾濫防止に向けた取組を推進。

河川区域での対策



河川区域での対策



河川区域での対策



集水域での対策



田んぼダムの取組、農業用ため池の活用（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 地域排水改善に向けたほ場整備の実施と「田んぼダム」導入の促進のため学識経験者・徳島大学等との連携による効果検証等に着手

ほ場整備事業の実施地区での「田んぼダム」の取組



学識経験者による
現地調査・ワークショップ



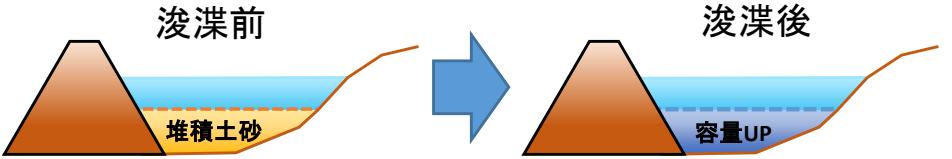
徳島大学との連携により田んぼダムの
効果検証を行うため水位計を設置

- 農業用ため池の活用の検討を実施

低水位管理・事前放流の推進



「農業用ため池しゅんせつ事業」の活用



しゅんせつ事業実施済ため池:桶川池(三好市)

- ・「徳島ため池管理支援センター」の活動により吉野川流域の市町及び、ため池管理者等へ、農業用ため池の事前放流等の取組を推進
- ・「農業用ため池しゅんせつ事業」を活用し、農業用水及び洪水調節容量の確保に向けた取組を推進
- ・補助事業を活用した、監視カメラや水位計等の遠隔監視システムの導入による、監視体制強化に向けた取組の推進

森林の整備・保全（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

気候変動に伴う大雨の激化・頻発化により山地災害が激甚化する中、水源涵養機能や土砂流出防止機能等、森林が持つ公益的機能の適切な発揮に向けて森林整備や治山対策を実施。

治山対策

- 「治山ダムの設置」による渓流や山腹斜面の安定化、土砂や流木の流出抑制
- 「山腹工の実施」による森林再生や土砂流出抑制
- 「本数調整伐の実施」による、森林土壌の保全強化



令和6年度

治山対策	令和6年度		令和5年度	
	治山ダム工	山腹工	27基	30基
	山腹工	4.81ha	3.29ha	
	本数調整伐	48ha	66ha	

森林整備

- 「間伐の実施」により、下層植生が繁茂することで、森林の水源涵養機能や土壌保全機能を発揮
- 「再造林の実施」により、森林の多面的機能を持続的に発揮



令和6年度

森林整備	令和6年度		令和5年度	
	間伐	造林	420ha	470ha
			100ha	100ha

下流域への

- 雨水の流出抑制
- 土砂・流木の流出抑制

早明浦ダム再生事業（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- ダム治水機能向上を目的とした早明浦ダム再生事業は、令和5年度より本体工事に着手。
- 令和10年度に事業完了予定。【事業期間：令和元年から令和10年まで】



工 程 表	年 度				
	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)
仮設工（仮締切・仮桟橋・仮設構台等）		上流仮締切	仮桟橋・仮設構台等設置～維持管理		撤去
堤体工（堤体削孔）		堤体削孔			
減勢工（増設）		基礎掘削・コンクリート打設			
機械設備工（放流管・ゲート等）		放流管・ゲート製作・据付			
電気・通信設備工			制御設備制作据付		

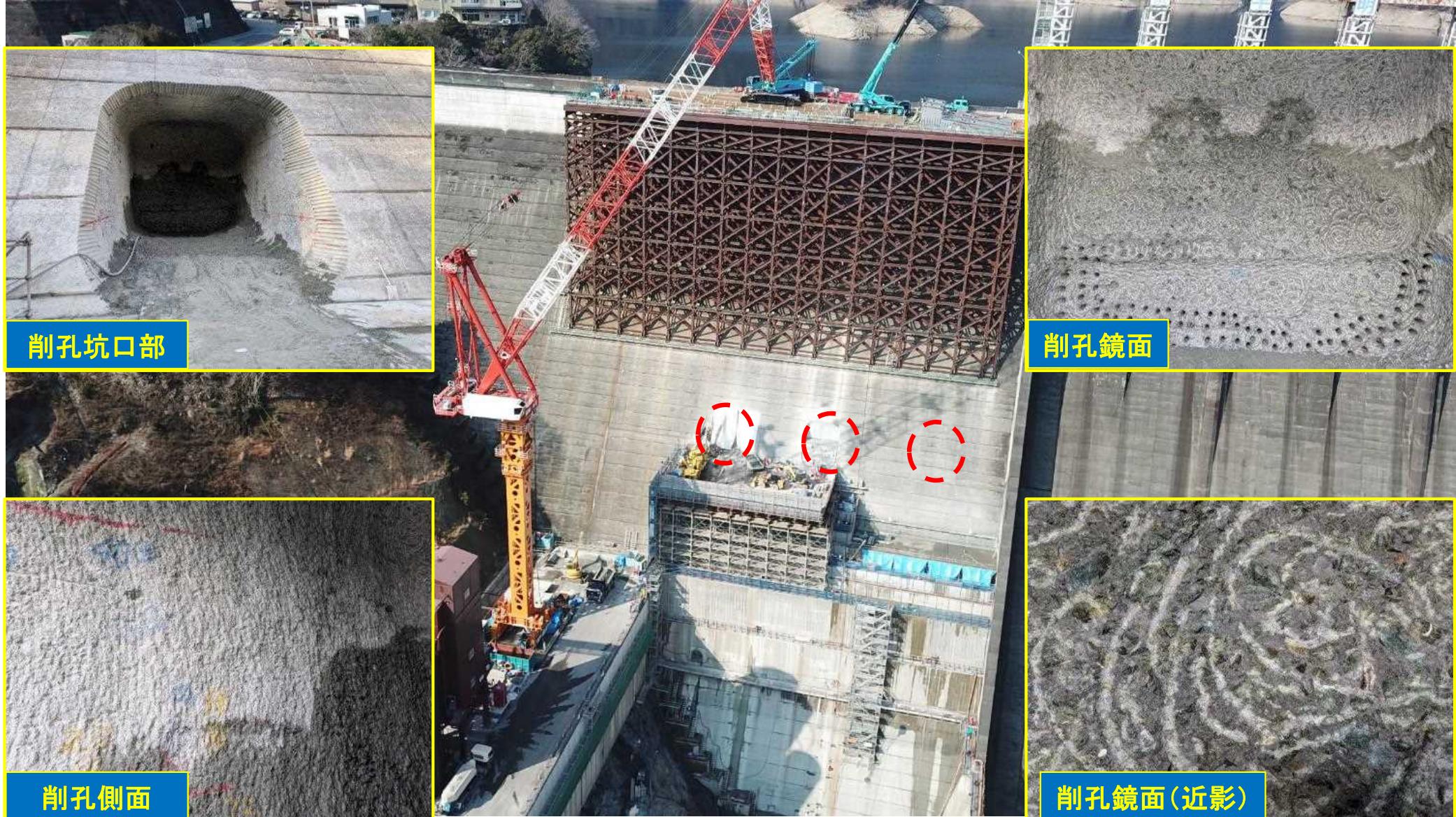


現在の状況（ダム下流側）

堤体削孔

令和6年11月～ 削孔本格化

自由断面掘削機により下流側から掘削（ $6 \times 6\text{m}$ ，削孔延長約42m）



上流仮締切設備

令和6年11月～ 据付開始

早明浦ダムでは、通年水道用水や工業用水等の利水を補給しており、ダムに水を貯めた状態で工事を行う必要があるため、上流仮締切設備を設置しています。

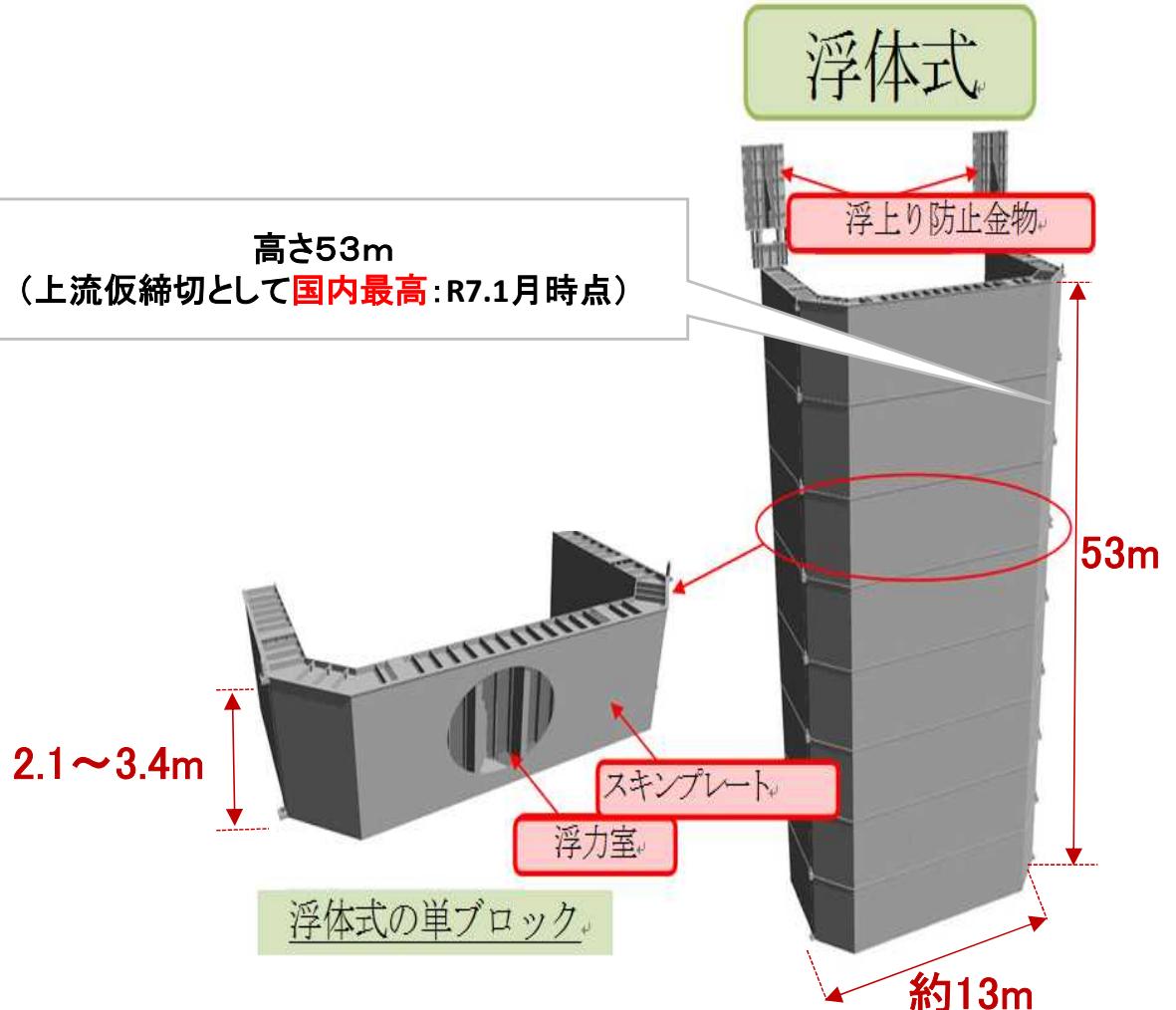


締切内の抜水状況(R7.1)



設置状況(R7.1)

高さ53m
(上流仮締切として国内最高:R7.1月時点)



治山事業による森林の整備・保全（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 森林の有する水源涵養機能や山地災害防止機能の適切な発揮に向けた治山事業の実施。
- 治山施設：6箇所（渓間工3基・山腹工0.1ha・地すべり防止工1箇所）

○治山ダム工（渓間工）

治山ダム工等の施設の設置により、渓岸・渓床の侵食防止や山脚の固定等を図り、森林の生育基盤を確保します。また、流木を捕捉する治山ダム工の設置も推進しています。



○山腹工

山腹斜面の安定を目的とする土留工等の施設と植生を回復するための植栽工等を崩壊等の特性に応じて配置し、森林を再生します。



○地すべり防止工

地すべりの発生地及びその恐れの高い箇所において、対策工を実施し、地すべりによる被害の防止や軽減を図ります。

地下水の排除などにより地すべりが発生する要因を除去する抑制工と、直接的に地すべり土塊の動きを止める抑止工を組み合わせ、地すべりの安定を図ります。



水源林造成事業による森林の整備・保全(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の生長や下層植生の繁茂を促し、森林土壤等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

- 水源林造成事業は、水源の涵養上重要な奥地水源地域の民有保安林のうち、土地所有者の自助努力等によって適正な森林整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

水源林造成事業の流れ



- 吉野川(中・下流)流域における水源林造成事業地は、約280箇所(森林面積 約5.3千ha)であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。令和6年度は40箇所で約270haの森林整備を実施する予定です。

I 吉野川流域の水源林造成事業地



II 徳島水源林整備事務所管内の水源林整備状況



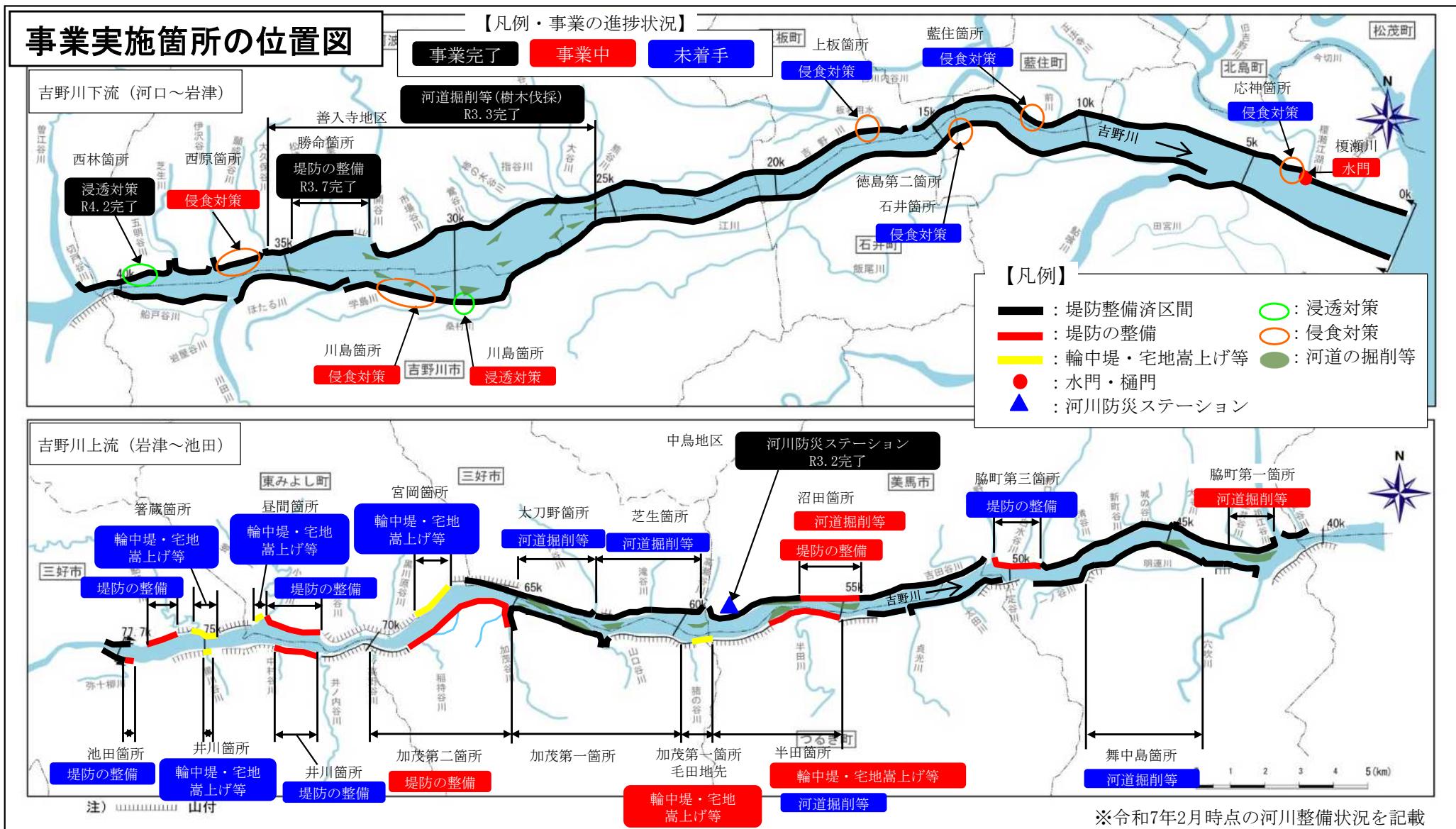
吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和6年度の取組
徳島河川国道事務所

堤防整備等（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 吉野川は戦後最大洪水を記録した平成16年10月台風23号による浸水被害を踏まえ堤防整備・河道掘削等を実施中。



砂防関係施設の整備 (氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

- 直轄砂防事業として砂防堰堤等を整備し、土砂及び流木の流下を抑制する。
- 直轄地すべり対策事業として抑制工等を実施し、地すべりによる被害の防止・軽減を図る。
- その他、治山部局と連携した流木対策の実施を見据え、流域の荒廃状況の調査結果を共有するとともに、双方の技術力向上を目的として事業箇所への合同現地視察を実施するなど、連携を深めている。

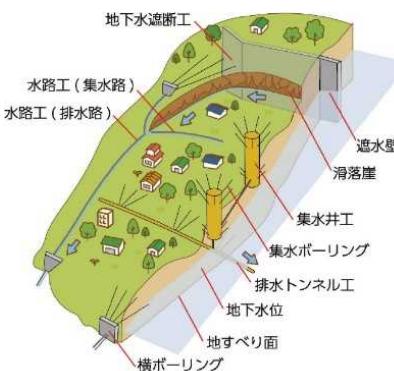
①直轄砂防事業（例；砂防堰堤の新設・改良）



漉長谷堰堤

- 透過型の砂防堰堤は、平常時は堰堤がない状態と同じように、細粒の砂が砂防堰堤を通過する。
- 洪水時は、大きな岩や流木を含む土砂が堰堤に設置されたスリットで捕捉されることで、堰堤下流の土砂災害を防ぐ。

②直轄地すべり対策事業（例；地下水排除工）



＜地下水排除工＞
地すべり土塊内の地下水を地域外へ効率的に排水するために、集水井、横ボーリング、排水トンネル等を設置する。

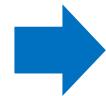


改良前（不透過型）



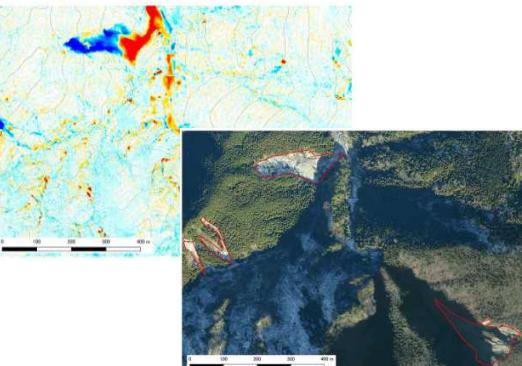
アカラギ谷堰堤

改良後（透過型）



- 既設の不透過型堰堤を切削して鋼製スリットを設置し、透過型堰堤への改良を実施している。
- 透過型堰堤に改良することにより、改良前よりも多くの土砂や流木を貯めるポケットを増やすことができる。

③治山部局との連携



- ＜荒廃状況調査結果の共有＞
- H30年7月豪雨による流域の荒廃状況を調査した結果を共有している。



- ＜砂防・治山連絡調整会議＞
- 会議にて治山部局と事業予定箇所を調整している。

吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和6年度の取組 鳴門市

- 鳴門市では、鳴門市立地適正化計画を作成し、その中の防災指針で地震・津波における対策だけでなく、土砂災害や洪水・高潮等のリスクについても明記し、具体的な取組や実施時期等を記載したうえで、より実行性を高めた防災まちづくり計画を進めている。



地域毎のリスクを計画に明記。
(地震だけでなく水害等も含め)

分類	取組内容	実施時期の目標 (実線：期間内に完了予定の取組、破綻：継続的な取組)	対象とする災害			対象地域（居住誘導区域内）						
			短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)	洪水	津波	高潮	振養町	鳴門町	瀬戸町	大麻町 板東
防災関連施設の整備・強化	緊急輸送路の確保	●							●	●	●	
	要配慮者に対する支援策 (社会福祉施設等対策、福祉避難所の設置)	●							●	●	●	
	防災拠点の整備 (避難所の耐震化、地域防災拠点の整備、防災資機材の整備)	●							●	●	●	
	防災拠点の整備 (岸辺・消防等施設、防災拠点施設の機能強化)	●							●	●	●	
	宅地開発の防災対策	●							●	●	●	
	水道施設・海岸・河川堤防等の水門・種門等の耐震化等	●							●	●	●	
	防災空間の確保、市街地再開発事業の推進	●							●	●	●	
	空き家対策の推進	●							●	●	●	
	河川・海岸・港湾及び漁港施設等の整備 (高潮・浸水予防施設の整備、高潮・浸水時の被災予防対策)	●							●	●	●	
	情報収集基盤の整備及び利活用の促進	●							●	●	●	
防災・避難計画・備蓄の検討・強化	津波避難ビルの確保	●							●	●	●	
	庁舎の防災機能の強化	●							●	●	●	
	排水施場（下水）の浸水対策	●							●	●	●	
	公共下水道（雨水）の整備・維持修繕	●							●	●	●	
	排水施設の整備・維持修繕、雨水排水路、用排水路等の維持修繕、老朽化対策	●							●	●	●	
	避難・宿泊場所として既存施設の災害時利用	●							●	●	●	
	避難路・避難場所の見直しと整備、周知徹底	●							●	●	●	
防災・避難計画・備蓄の検討・強化	水害警戒区域の調査	●							●	●	●	
	食料や水等の備蓄の推進	●							●	●	●	
	各BCPの策定と体制の向上	●							●	●	●	
	事前避難計画の策定促進	●							●	●	●	
防災教育・訓練の実施	市が実施する各種防災訓練	●							●	●	●	
	市民に対する防災知識の普及・啓発	●							●	●	●	
	(出前授業・出前講座の開催、広報なると・テレビ広報等による啓発、防災教育の実施)	●							●	●	●	
ハザードに関する周知	自主防災活動の実施	●							●	●	●	
	災情情報伝達手段の整備・充実・活用 (Jアラート、Lアラート、携帯電話緊急報メール、公式ウェブサイト、テレビ鳴門、鳴門	●							●	●	●	

実行性を高めるために
目標及び時期を明記。



ハザード情報と合わせて
具体的な対策内容を明記。

凡例		□ 行政区域
■ 土砂災害警戒区域	浸水警戒（住家）	□ 南海北北区
■ 土砂災害警戒別区域	平成25年大雨	■ 南海北南区
地図～防災区域	平成26年大雨	■ 南海北北防災地区
（避難）避難区域	平成26年台風	■ 南海北南防災地区
（避難）避難別区域	平成26年台風	■ 防災警戒
（避難）避難警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
（避難）避難別警戒区域	平成26年台風	■ 防災警戒
洪水警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
洪水警戒別区域	平成26年台風	■ 防災警戒
洪水警戒警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
洪水警戒別警戒区域	平成26年台風	■ 防災警戒
暴雨警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
暴雨警戒別区域	平成26年台風	■ 防災警戒
暴雨警戒警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
暴雨警戒別警戒区域	平成26年台風	■ 防災警戒
浸水警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
浸水警戒別区域	平成26年台風	■ 防災警戒
浸水警戒警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
浸水警戒別警戒区域	平成26年台風	■ 防災警戒
浸水警戒警戒別区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
浸水警戒別警戒別区域	平成26年台風	■ 防災警戒
浸水警戒警戒別警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
浸水警戒別警戒別警戒区域	平成26年台風	■ 防災警戒
浸水警戒警戒警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
浸水警戒別警戒別警戒警戒区域	平成26年台風	■ 防災警戒
浸水警戒警戒警戒警戒区域	平成26年大雨	■ 防災警戒
浸水警戒別警戒別警戒警戒警戒区域	平成26年台風	■ 防災警戒

- 防災教育・訓練に関する取組
 - 市が実施する各種防災訓練
 - 市民に対する防災知識の普及・啓発
 - (出典:市長選・出直選議員の開催、広報など)→
○直面防災訓練の推進(市民及び事業者、自主防災組織等の充実強化)
- ハザードに関する周知に関する取組
 - 防災情報収集手帳の整備・充実・活用

「マイ・タイムライン作成講座」の開催（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 令和7年2月7日(金)に鳴門市役所にて、鳴門市自主防災会会長・鳴門市地域防災リーダー(防災士)の方などを対象に「マイ・タイムライン講習会」を開催しました。講習会でははじめに徳島河川国道事務所からの趣旨説明と流域治水の取組の紹介、鳴門市職員によるハザードマップの解説が行われた後、講師の服部由佳気象予報士による近年の気象災害の情報についての講演が行われました。その後、参加者が「逃げキッド」を用いて一人ひとりの防災行動計画「マイ・タイムライン」の作成を行いました。
- 当日は約60名の方に参加いただき、作成中は同じ地区の方々でコミュニケーションを図りながら作成することで、顔の見える関係づくりも同時にを行うことで全体の防災意識の向上に寄与しました。



服部気象予報士の講演の様子



マイ・タイムライン作成中の様子

重要水防箇所合同巡視（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 水防関係団体で町内の重要水防箇所の合同巡視を実施
 - ・徳島河川国道事務所
 - ・石井町
 - ・石井町消防団

重要水防箇所合同巡視の様子 (令和6年6月21日)



巡視箇所の第十堰

吉野川の河口より約14キロ上流、石井町と上板町の間に位置する固定堰。もともとは江戸時代中期に農業用水確保のために造られたもので、昭和40年代にコンクリート補強がなされ、現在に至っている。



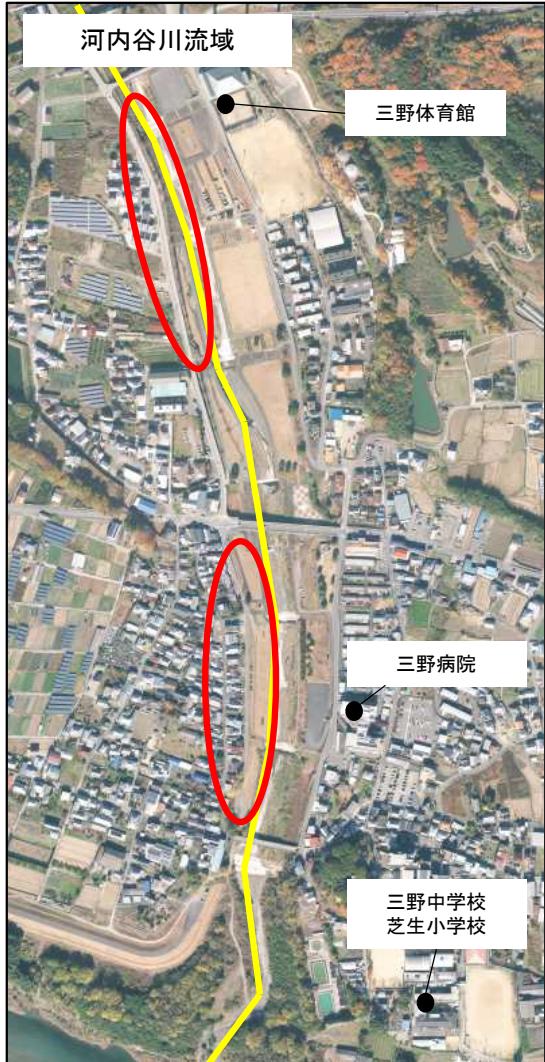
災害対策本部運営訓練（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 令和6年度三好市役所新庁舎整備に伴い、新たに災害対策本部室を設置。
- 令和7年1月29日、新庁舎初となる「災害対策本部運営訓練」を実施。



河川除草作業(被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

- 「河内谷川水管理行動計画」の一環として、出水期には水防団として活動する三野町消防団により一斉除草作業が行われ、河川周辺の景観改善を図った。



活動主体:三野町消防団(69名)

内水解析調査の実施(被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

➤ 加茂地区では、降雨量の増加による水災害リスクや既設水路の流下能力の低下、堤防建設に伴う内水氾濫に備え、住民の人的被害をなくすため、排水路整備に向けた内水解析を検討中です。



防災教育の推進（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 町立中学校（2校）においてハザードマップを活用した水害リスク等の確認や徳島県・東みよし町消防団と連携したロープワーク体験、マイタイムラインの作成案内や指定避難所及び指定緊急避難場所の周知を実施。
- 若年世代への防災教育や防災関係団体との連携などにより流域等での被害軽減の取組を推進。

防災教育の推進

○三加茂中学校

- ・ハザードマップ学習による水害リスク等の確認



- ・ロープワーク体験による消防団（水防団）の認知



○三好中学校

- ・マイタイムライン等の各種防災情報の周知



防災教育の実施、水害リスク空白域の解消等
(被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

- 「逃げ遅れゼロ」を目指し、避難の実行性向上に繋げる「防災情報の充実化」や「災害の自分事化に向けた取組」など、流域・氾濫域での被害軽減に向けた取組を推進

防災情報の充実化

防災情報を
プッシュ型で配信



県公式LINEの活用

YoutubeおよびCATVによる
リアルタイム配信(県内22河川28箇所)

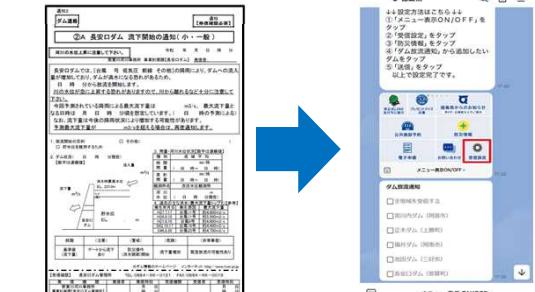


河川監視カメラの映像配信



徳島県公式LINE

選択したダムごとに
放流情報等の
受信が可能に



住民目線に立った情報発信

中小河川の洪水浸水想定区域図の作成



水害リスク情報空白域の解消

災害の自分事化に向けた取組

VR動画で外水・
内水氾濫の様子を観察



三島中学校

水害に備えるファミリー
タイムラインを作成



城東小学校

国・市町村と連携した
事前の防災情報の共有



R6.12.24
水災害に関する減災会議



R7.1.20
飯尾川流域治水勉強会

流域治水パンフレットの作成



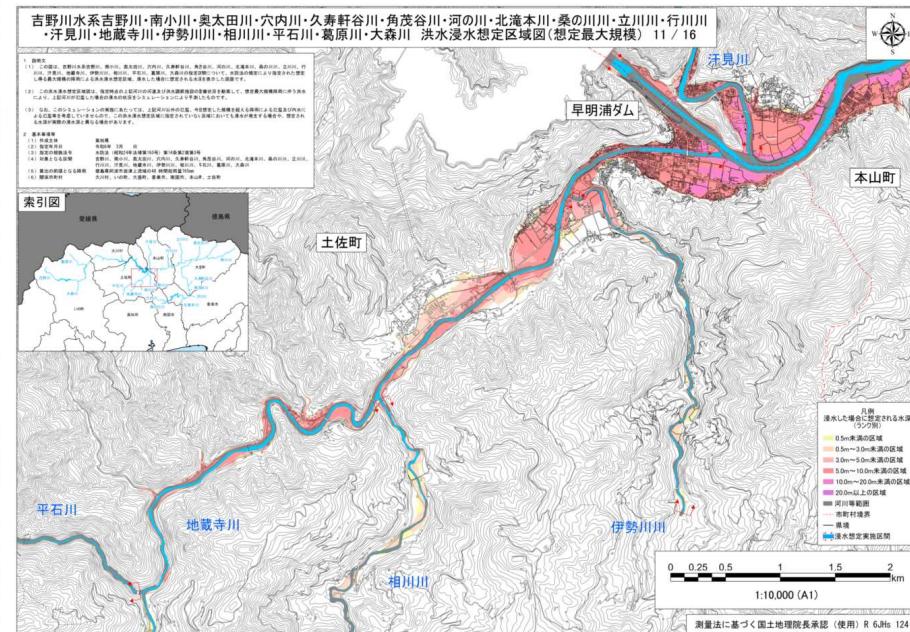
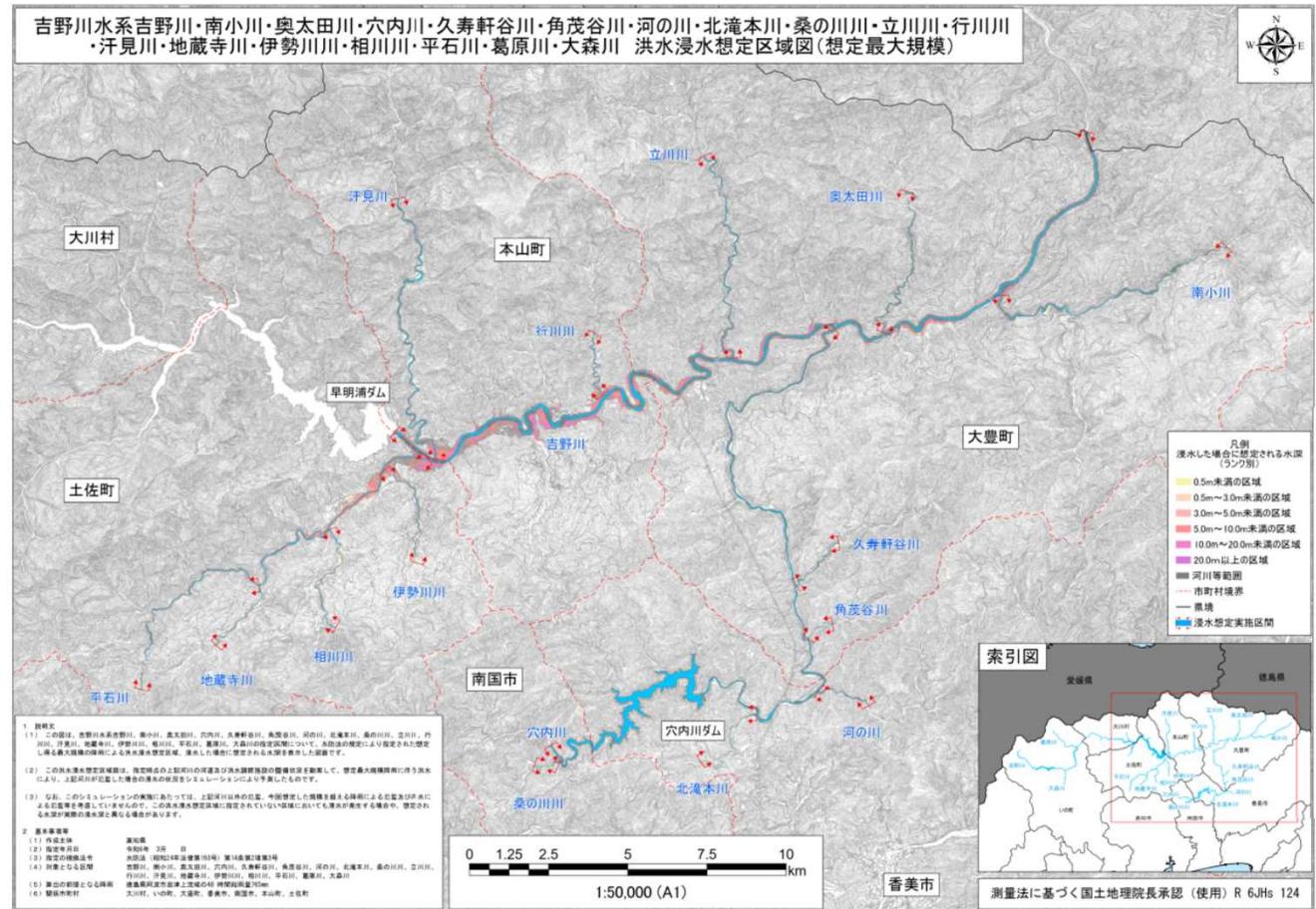
流域治水に関する住民の意識醸成

吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和6年度の取組 高知県

浸水想定区域図作成（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 吉野川（早明浦ダム）から上流の県管理区間）及び県が管理する支川について想定最大規模降雨における浸水想定区域図を作成。（令和6年12月公表）



防災授業・情報の改善（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

①気象防災ワークショップの実施

気象台からの情報に基づき、防災対応を疑似体験するワークショップを行った。参加者は、災害の状況を想定し、グループで情報を参照しながら対応を検討した。

このワークショップを通じて、防災情報の理解と活用、避難情報の発令タイミング等を学び、防災対応力を向上させることを目指す。

②常時接続を用いた市町村への解説

気象台が県内で広く防災対応が必要な気象状況を予測し、自治体の支援が必要と判断した場合、常時接続で気象解説を行い、リアルタイムの防災気象情報を提供する。

③アンケートフォームによる振り返り等の実施

アンケートを用いて災害の振り返りを実施し、災害発生時の対応を自治体と共同で振り返る。この振り返りを通じて、防災気象情報や自治体支援の改善を図る。また、防災対応において双方の理解を深め、地域の気象防災力を強化することを目的とする。

④各種防災訓練やイベント等への参加

防災気象情報の伝え方の改善 (線状降水帯による大雨について)

情報の改善のため観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月には、**線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ**を

令和5年5月には、「**顕著な大雨に関する気象情報**」(線状降水帯の発生をお知らせする情報)をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年出水期には、令和4年度から開始した線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、府県単位で実施。
(令和6年5月27日11時より運用開始)



ハザードマップの改良（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

▶ 「重ねるハザードマップ」のデータ更新。

指定緊急避難場所データを更新

市町	公開日	最終更新日	市町	公開日	最終更新日
徳島市	2017/2/22	2025/1/23	松茂町	2017/2/22	2025/1/23
鳴門市	2017/2/22	2025/1/23	北島町	2017/2/22	2025/1/23
吉野川市	2017/2/22	2025/1/23	藍住町	2017/2/22	2025/1/23
阿波市	2017/2/22	2025/1/23	板野町	2017/2/22	2025/1/23
美馬市	2017/2/22	2025/1/23	上板町	2017/2/22	2025/1/23
三好市	2017/2/22	2025/1/23	つるぎ町	2017/3/14	2025/1/23
石井町	2017/2/22	2025/1/23	東みよし町	2017/12/25	2025/1/23

重ねるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べる~

古町

この場所では、最悪の場合、洪水による浸水が発生してその深さ5メートルから10メートルになることが想定されています。
また、この場所は河川からあふれた水の流れにより、木造住宅などが倒壊する危険性のある場所です。
水害発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ早期に立退き避難することが必要です。
避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

古町のハザードマップを見る

誤差のため、正確な位置が表示されていない場合もあります。また、災害リスク情報は現時点のものであり、状況が変わることがあります。詳細はこちらの注意事項をご確認ください。

ホームへ戻る

20m~
10~20m
5.0~10m
3.0~5.0m
0.5~3.0m
0.0~0.5m

最新の状況などは当該市町村にご確認ください。
「指定緊急避難場所」について 市町村の公開日、更新日一覧

サイトの新機能として、地点の災害リスク情報
がわかりやすく表示できるようになりました。

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

小中学校における防災教育（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

➤ 令和6年11月に美馬市立美馬小学校で出前授業。

美馬小学校における「測量と地図の学習会」の中で、地域の災害リスクや防災に役立つ地図について講義し、ハザードマップで調べることができる地域の災害リスクや避難場所についての説明、学校の近くで見ることができる自然災害伝承碑（過去に起きた津波や洪水などの自然災害の情報を伝える石碑やモニュメント）の紹介などを行った。



大規模土砂災害（河道閉塞等）の対応を関係機関等と連携して実施 (被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

- 吉野川流域で発生する大規模土砂災害（河道閉塞等）は、四国地方整備局（四国山地砂防事務所等）、徳島県・高知県及び吉野川流域の関係市町村等の関係機関が連携して、災害対応（警戒避難、緊急調査、緊急対策等）を実施する。
- 特に河道閉塞による湛水（天然ダム）が発生した場合、四国地方整備局（四国山地砂防事務所等）が主体となって「緊急調査」を実施するとともに、徳島県・高知県及び関係市町村に「土砂災害緊急情報」を提供する。

河道閉塞の発生



土砂災害緊急情報の通知

土砂災害緊急情報のイメージ(河道閉塞に起因する土石流)

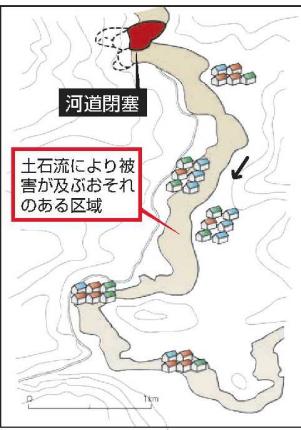
土砂災害緊急情報

○○市長殿

国土交通省

○月○日、○○川の○○地区付近において、河道閉塞（天然ダム）が確認されました。

今後の降雨等により天然ダムの水位上昇が続いた場合、早ければ○日○時頃には天然ダムからの越流が始まり、天然ダムの決壊に伴い土石流が発生し、別図に示す○○集落等に到達するおそれがありますので警戒して下さい。



市町村長が住民への避難を指示(災害対策基本法第60条)等

土砂災害から国民の生命・身体を保護

「土砂災害（河道閉塞）緊急情報」の発令イメージ
※『土砂災害防止法の一部改正について（平成23年5月1日施行）』パンフレットより抜粋

投下型水位計・計測機器等の操作訓練を実施



※投下型水位計設置イメージ



投下型水位計の運搬状況

大規模土砂災害対応訓練を関係機関と連携して実施

様々な土砂災害に対して、**関係機関がとるべき対応及び連絡内容の確認等を主目的**として、訓練を通じて、警戒・避難等の対応、土砂災害警戒情報の発令や被害情報の収集・共有、土砂災害防止法に基づく緊急調査や緊急対応等について、各機関の実施内容や連携・調整する内容等を確認・共有する。

訓練実施履歴

開催年度	開催地
H22	高知県いの町
H23	徳島県阿南市
H24	愛媛県久万高原町
H25	徳島県三好市
H26	高知県梼原町
H27	愛媛県西条市
H28	徳島県美馬市
H29	高知県安田町・馬路村
R1	徳島県東みよし町
R2	徳島県三好市・高知県梼原町
R3	徳島県三好市
R4	高知県越知町
R5	愛媛県東温市
R6	香川県さぬき市

防災教育（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

➤ 地元中学生を対象に、ダムへの理解や防災意識の向上につながるよう、防災教育を実施。

- ・地元中学生を対象に「三好ジオパーク」防災教育の一環として、ダムの役割と重要性を知ってもらうダム見学会を実施。
- ・地元の中学校（井川中学校・池田中学校）が参加。池田ダムの重要性を学ぶとともに、通常は一般公開していない池田ダムの発電所やゲート管理橋などの施設を見学。
- ・実施日： 令和6年10月16日（水）、18日（金）
- ・参加者： 三好市立 井川中学校（10名） 池田中学校（78名） 18日は三好市の高井美穂市長が参加



市町村との情報共有（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

➤ 出水前にダム流域の自治体と「防災情報に関する意見交換会」を開催。

- ・洪水及び地震災害時における連携強化、被害の防止、軽減を図るため、吉野川中・上流域の防災担当者による意見交換会を実施。
- ・令和7年度からは、出水期前の意見交換と台風接近時前の情報交換を行い、連携を図る。
- ・実施日：令和6年9月12日、19日、25日
- ・参加者：【吉野川中流域】美馬市、三好市、東みよし町、つるぎ町、
【吉野川上流域】本山村、大豊町、土佐町、大川村
【銅山川流域】四国中央市
【事務局】国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所、水資源機構 池田総合管理所
- ・「防災情報に関する意見交換会 規約」を策定（令和6年12月12日）

令和7年度の開催時期と議題

開催時期	開催形式	議題
【出水期前】 4月中旬～5月中旬	対面 or Web会議(Teams) ※マスコミ公開可(頭振り)	ダムの予測手法とダム管理及びダムからの情報提供についての勉強会
【出水・台風接近時】 以下のダム流出予測により、洪水が予測される場合 (目安) 早明浦ダム放流量 2,000m ³ /s 新宮ダム放流量 1,200m ³ /s 池田ダム放流量 5,000m ³ /s	Web会議(Teams) ※マスコミ公開可(頭振り)	ダム流出予測データ等からの情報提供、自治体の対応状況等について (情報提供範囲) ・吉野川上流域：本山村・大豊町・土佐町・大川村 ・銅山川流域：三好市・四国中央市 ・吉野川中流域：美馬市・三好市・東みよし町・つるぎ町
【地震発生時】 管内で震度5強以上を観測し、被害が予測される場合	メール	各機関の被災状況、支援に関する情報交換
【南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表時】		各機関の対応状況について



開催状況（中流域）